

川崎医科大学附属病院 がんセンターNEWS

Vol.14 2013 春号



撮影:春間 賢

- 病院長就任のご挨拶
- がん看護専門看護師誕生！！
- 第23回緩和ケアフォーラムin岡山報告
- 第12回市民公開講座報告

インフォメーション

- 第8回Oncology Seminar
- 第13回Cancer Seminar



病院長就任のご挨拶

病院長 圓尾 博司



本年4月よりの附属病院の病院長を拝命いたしました。医師ならびに全職員の皆様のご協力を賜りながら良い病院づくりに微力ながら全力を尽くす所存です。何卒よろしくお願い申し上げます。

当院は、昭和48年の開設以来、「病院は患者さんのためにある」をモットーに救急疾患から癌や慢性疾患まですべての患者さんのために安全・安心な医療を提供できるよう努めてきました。また、医学生や研修医を教育して良医を世に送り出す任務を果たしています。さらに、高度医療を提供する「特定機能病院」、「地域がん診療連携拠点病院」としての役割を担っています。

がん診療については、充実した各領域の医師・医療者のもとで最新の医療機器を導入した質の高い診療を行っています。また、5年前に組織した「がんセンター」の各種活動により、知識の共有、がん医療の質の向上が図られるとともに医療者間の横の繋がりやお互いの顔みえる関係が生まれ、円滑なチーム医療の実践や地域連携が可能となってきました。今後も患者さんと情報を共有し、十分な説明のもとで職員が一体となって良い医療を提供したいと思っています。皆様のご指導、ご支援をお願い申し上げます。

がん看護専門看護師 誕生!!

看護部長 千田 美智子

専門看護師制度とは、複雑で解決困難な看護問題を持つ個人、家族及び集団に対して水準の高い看護ケアを効率よく提供するための、特定の専門看護分野の知識・技術を深めた専門看護師 (Certified Nurse Specialist) を社会に送り出すことにより、保健医療福祉の発展に貢献し併せて看護学の向上を図ることを目的としている制度です。(日本看護協会HP)

専門看護師制度には11分野が特定されており1044名が登録されています。がん看護分野の登録者数は424名、県別内訳では岡山県では5名が登録されており、そのうち2名は当院看護部から誕生いたしました。がん看護分野において、実践・相談・調整・倫理調整・教育・研究という6つの役割を果たしながら、院内のがん看護の質の向上を目指します。

多くの医療関係者の方々に認知していただき、リソースナースとしてご活用していただきますようお願い申し上げます。



▲平松 貴子



▲安田 千香



▲認定バッジ

第23回緩和ケアフォーラムin岡山報告

代表世話人 消化器外科部長 平井 敏弘

平成25年2月13日(水) 19:30から、倉敷第一病院イサムホールにおいて第23回緩和ケアフォーラムin岡山が開催されました。今回はシンポジウム形式の発表と討論で、テーマは「高齢者支援と緩和—独居/癌/認知症患者への支援の実態」でした。座長は伊木診療所 伊木勝道院長が担当され下記の内容についての発表がありました。

1.「倉敷市地域包括支援センターの役割と課題」

倉敷市地域包括総合支援センター 社会福祉士 高原 寛子さん

2.「ある独居高齢者との関わり～ケース発見から要介護認定を受けるまで～」

帯江・豊洲地区高齢者支援センター 看護師 石井 敦子さん

3.「在宅での独居/癌/認知症患者への支援」

亀籠團居宅介護支援センター ケアマネージャー 清 早織さん

4.「老健施設/特別養護老人ホームでの医療と介護～倉敷での医療介護のあゆみ50年を振り返って～」

若宮老人保健センター 施設長 中島 健博先生

増え続ける要介護高齢者、認知症患者、終末期癌患者をいかにサポートするかということがそれぞれ立場でご発表後討論会となりました。各種、施設の連携が非常に重要であることを再認識させられたシンポジウムでした。

緩和ケアフォーラムin岡山

代表世話人 川崎医科大学附属病院
消化器外科部長 平井敏弘
事務局 川崎医科大学 臨床腫瘍学教室
kasco@med.kawasaki-m.ac.jp
メーリングリストご加入の際は上記にメールをお願いします。

第12回市民公開講座報告

平成25年3月9日(土) 13:30から、川崎医科大学現代医学教育博物館2階大講堂において第12回市民公開講座「日常生活とがんの予防」を開催しました。消化器外科平井敏弘部長を座長に①「日常生活と肝臓がん予防」肝・胆・膵内科:仁科惣治医師、②「日常生活と大腸がん予防」食道・胃腸内科:藤田穰医師、③「タバコの害と禁煙のすすめ」呼吸器内科:加藤茂樹医師、④「日常生活と乳がん予防」乳腺甲状腺外科:椎木滋雄医師の講演を行いました。

当日は春の陽気でお天気にも恵まれ135名のご参加をいただきました。講演では日頃の生活習慣や自己検診の大切さ、肥満やタバコが身体に及ぼす影響などが印象に残ったというご意見が多く寄せられました。

次回は平成25年9月14日(土) 午後市民公開講座がんサロンを開催予定です。



がんセンター活動予定

第8回Oncology Seminar

(医療従事者向け)

日時:平成25年5月11日(土) 13:30 ~ 16:00
場所:川崎医科大学 校舎棟8階 M801講義室

テーマ 「チームで行う症状マネジメント」

- 講演**
- ①「肺がんの最新治療」
大橋 祥弘 (呼吸器内科)
 - ②「難治性症状に対する最新の治療」
岡部 麗 (臨床腫瘍科医員)
 - ③「肺がん患者の症状マネジメント」
安田 千香 (看護部 がん看護専門看護師)

駐車場 外来駐車場をご利用ください。(サービス券をお渡しします。)

★下記に事前のお申込みをお願いします。

お申込み・お問い合わせ先 川崎医科大学附属病院 患者診療支援センター
〒701-0192 倉敷市松島577 TEL 086-462-1111 (内線22612) E-mail renkei@med.kawasaki-m.ac.jp

第13回Cancer Seminar

(医療従事者向けですが一般の方のご参加も可能です)

日時:平成25年6月15日(土) 13:30 ~ 16:00
場所:川崎医科大学 現代医学教育博物館2階大講堂

テーマ 「がんの抗体療法を含む免疫療法」

- 講演**
- ①「知っておくべき腫瘍免疫のポイントと細胞治療」
山口 佳之 (臨床腫瘍科部長)
 - ②「がん免疫療法の進歩」
中山 曾一 (川崎医療福祉大学 医療福祉学部教授)
- 特別講演
「がん免疫療法の現状と将来 - 抗CCR4抗体の開発から」
上田 龍三 先生 (愛知医科大学医学部 腫瘍免疫学付講座教授)

● オープンカンファレンスのご案内

下記のカンファレンスを行っています。
参加ご希望の際は地域医療連携室までご連絡をお願いします。

呼吸器カンファレンス

呼吸器内科・呼吸器外科・放射線科(診断・核医学)・病理科病理部合同で「呼吸器X線カンファレンス」を行っています。院外の先生方もどうぞご参加ください。気になる症例がありましたらレントゲンをお持ちいただいても結構です。

日時 第2・4月曜日 18:00 ~ 19:00

場所 9階中病棟 第2カンファレンス室

緩和ケアカンファレンス

毎週木曜日13:15から14階西カンファレンス室で緩和ケアチームのカンファレンスを行っています。

大腸癌化学療法カンファレンス

外科・内科・臨床腫瘍科・放射線科の医師・看護部・薬剤師など多職種からなる医療チームで、外来大腸癌性腫瘍に対する治療方針(化学・放射線療法プロトコル・手術介入など)の決定についてのカンファレンスを行います。院外の先生方や医療スタッフの皆様もどうぞご参加ください。

日時 第1・3金曜日 17:30 ~ 19:00

場所 本館10階 過院治療センター

Case Conference

各診療科から症例を提示し、その診断と治療およびケアについて複数の診療科で、また医師・看護部のみならず広くコメディカルも参加して横断的かつ総合的に討議し勉強する症例検討会です。

日時 第2木曜日 18:00~19:00

場所 川崎医科大学 校舎棟7階M703講義室

Nutrition Support Team (NST) カンファレンス

毎週火曜日14:00から14階南カンファレンス室でNSTミーティングと勉強会を約1時間行っています。どなたでも参加可能です。



川崎医科大学附属病院

〒701-0192 岡山県倉敷市松島577
TEL 086-462-1111(代表)
<http://www.kawasaki-m.ac.jp/hospital/>

紹介患者さま受診予約窓口

■地域医療連携室
直通 TEL(086)464-1567
代表 TEL(086)462-1111(内線22611-22613)
直通FAX(086)464-1166
E-mail renkei@med.kawasaki-m.ac.jp